

ナチュラリスト養成講座（二期生）募集要項

筑波大学菅平高原実験センターナチュラリストとは？

「自然を正確に観察し、科学的に理解し、それを他者に伝える技術」を身につけ筑波大学菅平高原実験センター内で自然観察ガイドやイベントスタッフとして長期間活動して頂く方です！

現在活動するナチュラリスト一期生は、「菅平ナチュラリストの会」を結成し、自然観察会ガイドの他、自主的な勉強会や写真展の開催などの活動を精力的に行っています。

筑波大学菅平高原実験センターナチュラリスト認定までの流れ

🌸🌸🌸養成期間は2年間🌸🌸🌸

1年次（平成27年度）

6回の基礎講座を受講して学びます。

- ① 最終回には成果発表を行ないます
- ② 各回、テストあるいはレポート等の課題があります
- ③ ナチュラリスト一期生の活動（定期観察会等）への参加（任意）

↓ 修了後 ↓

筑波大学菅平高原実験センターナチュラリスト養成講座修了証書授与
2年次に進むには？

- ・ 出席回数
 - ・ 各講座内で行なうテスト・レポートの点数
 - ・ 自主学習の姿勢
- から総合的に判断します。

2年次（平成28年度）

本センター主催のセンター公開観察会にサポートスタッフとして参加するなど、より実践的な講座を予定しています。

↓ 修了後 ↓

筑波大学菅平高原実験センターナチュラリスト認定書交付

ナチュラリストに認定されるには

- ・ ボランティアスタッフとしての参加回数
 - ・ 学ぶ姿勢
 - ・ 協調性
- から総合的に判断します。

3年次以降（平成29年度から）

筑波大学菅平高原実験センターナチュラリスト（ボランティアスタッフ）としてセンターの活動にご協力いただけることを期待しています。

- ・ 本センターが主催するセンター内での観察会等のイベントの企画・運営
- ・ 「菅平ナチュラリストの会」の活動全般

🌸用意するもの🌸

- ① 野外実習可能な服装（作業用手袋・帽子等）
- ② 筆記用具
- ③ 救急用品（傷薬・絆創膏等）
- ④ その他に必要・便利と思われるもの（図鑑・カメラ等）
- ⑤ メールアドレス（講座の連絡に利用します。添付ファイルなどを受信できるアドレスをご用意ください）

🌸学びの場🌸

菅平高原実験センターは、標高約1,300mの高冷地という立地条件を活かし、森林、草原、溪流などを擁する豊かな自然環境に恵まれた広い敷地や実験地、施設、設備を十分に活用しながら、生物科学、地球科学、農学などの自然環境に関わる教育・研究の場として機能しています。

冬季は、路面が凍結しますのでお車でお越しの場合は、スタッドレスタイヤやチェーンが必要です。また、最寄りのバス停（菅平高原ダボス）からは、徒歩15分程度かかります。



★★★講師紹介★★★

町田 龍一郎	生命環境系 教授 動物系統分類学・昆虫比較形態学・昆虫比較発生学
田中 健太	生命環境系 准教授 植物繁殖生態学・個体群生態学・集団遺伝学・エコゲノミクス・木登り生態学
出川 洋介	生命環境系 助教 (ナチュラリスト養成講座 主担当) 植物系統分類学、菌類学
鈴木 亮	生命環境系 助教 植物生態学・個体群生態学・群集生態学
平尾 章	生命環境系 助教 分子生態学・植物生態学
佐藤 幸恵	生命環境系 助教 行動生態学・進化生態学・個体群生態学・害虫管理学・植物ダニ学
高木 悦郎	生命環境系 特任助教 森林動物学・個体群生態学
金井 隆治	筑波大学菅平高原実験センター技術職員
正木 大祐	筑波大学菅平高原実験センター技術職員
佐藤 美幸	筑波大学菅平高原実験センター技術職員 (ナチュラリスト養成講座 受付等担当者)
ナチュラリスト 一期生	講座のサポート役として、講座に参加します。

筑波大学菅平高原実験センターナチュラリストとして

- ・ 自然界は未解明であることを理解し、謙虚に「**自然を観る姿勢**」を養う。
- ・ 自然に対する理解を自ら素養し深めていくことができる、「**主体的学習能力**」を養う。
- ・ ガイドのための基礎知識（種の同定、生物の法則の理解等）を身につけ、自分の言葉で自然に対する理解を、「**他の人に伝えられる**」ようになる。

目標達成を目指しましょう！！

学びたい！という気持ちと**実行する力**

そして**協調性**をお持ちの方をお待ちしています。